舗装路面のスベリ抵抗測定方法

この方法は、一般国道においてポータブルテスターを使用し、舗装路面のスベリ抵抗測定を行う場合に、次の要領で行うものとする。

１．測定器の基準

① スベリ抵抗の測定には、英国スタンレー社製のポータブルテスター（Portable Skid Resistance Tester）を用いるのを原則とする。

② ゴムスライダーは、英国スタンレー社製を用いるのを原則とし、1.5 ㎜以上摩損したものは新品と取替えるものとする。

③ 路面温度の測定には、表面温度計またはサーミスター温度計（但し、感熱部は円盤型とする）を用いるのを原則とする。

２．測定要領

（１）測　　定

① 測定は、路面温度20±10℃の範囲内で実施するのを原則とする。

② 測定個数は、舗設車線別延長200m毎に１個所以上とする。

③ 測定方向は、車両の進行方向について行うものとする。

④ 横断的測定位置は、舗設車線の中央とする。

⑤ 路面状態は、湿潤時についておこなう。

⑥ 路面温度の測定は、スベリ測定の直後、スライダーの接地面で測定するものとする。

⑦ 外気温度は、地上より１m附近で測定する。

（２）　スベリ抵抗値の測定方法

① 測定前に測定路面上の有害付着物は、必ず取りさらなければならない。

② 測定器は、路面に水平に据える。この場合、10％以上の勾配路面は測定不可能であり、除外する。

③ スライダーの付いた振子腕の軸を上下させ、スライダーと路面のスベリ長さを附属のスケールの長さに調整する。

④ 振子を右側へ水平になるまで持ち上げ、解放する。

⑤ スライダーは、路面をこすり、振子が左側に跳ね、指針が目盛板を示した時の値を読み取る。

⑥ 測定は、１箇所について10回程度を標準とし、(最初の２～３回は路面のごみ、浮いた材料などの影響があるため除外する。）路面を完全に散水して、１回毎に必ず水を散布するのを原則とし、全測定値の算術平均をその箇所のRt値とする。

⑦ Rtを、下記の式にて温度補正を行い、R_{20}を算出し、全体の算術平均を求め、路面のスベリ抵抗値とする。

$$R_{20}=\frac{100+t}{120}\cdot Rt$$

R_{20}：20℃におけるスベリ抵抗値

Rt：実測時の温度ｔ℃におけるスベリ抵抗値

ｔ：実測時の路面温度（℃）